

令和 8 年度 第 1 四半期（4 月～6 月）

景気動向調査結果報告

豊橋商工会議所 ビジネスサポートセンター

調査概要

- 調査対象
(1)対象地区：豊橋市内 306 社
(2)回答企業数：156 社 (51.0%)
- 調査期間
令和 8 年 4 月～6 月
- 調査方法
郵送（ファクシミリにて返信）、Google Form
- 回答企業の内訳
製造業 63・建設業 31・卸売業 18
小売業 21・運輸業 10・サービス業 13

全産業業況 DI 値は前回調査から 16.1 ポイント悪化、
令和 7 年度第 1 四半期からは 11.8 ポイント悪化

■全業種概要

全産業の総合判断 DI 値は▲19.7（前期比▲16.1、前年同期比▲11.8）、来期見通し（令和 8 年 7 月～9 月）は▲21.2（当期比▲1.5）となった。

前回調査では全業種の業況 DI 値にやや持ち直しの傾向がみられたが、今期は大きくマイナスとなった。中東情勢の緊迫化に端を発する原油価格高騰、原油由来製品の供給不足を不安視する声が多く聞かれたほか、依然として人件費の高騰、人手不足を問題視する声が多く、先行きについても中東情勢次第だとするコメントが多かった。

設備投資は、「実施した」との回答が 49.7（前期比▲3.7、前年同期比▲4.4）、来期に設備投資を「計画している」との回答は 41.7（当期比▲8.0）となった。

■製造業

業況 DI 値は▲29.0（前期比▲23.2、前年同期比▲24.2）、来期の見通しについては▲32.3（当期比▲3.3）となった。

IT 業界や半導体関連を中心に需要は堅調であるとの声があったほか、一部では価格転嫁がうまくいっているとの声が聞かれたが、全体的に中東情勢の悪化に伴う原油価格高騰、ナフサ由来製品の供給不足が厳しいとのコメントが多かった。

経営上の問題点としては、「原材料価格の高騰」、「従業員・技術者の確保難」、「需要の停滞」、「人件費の増加」が主にあげられる。

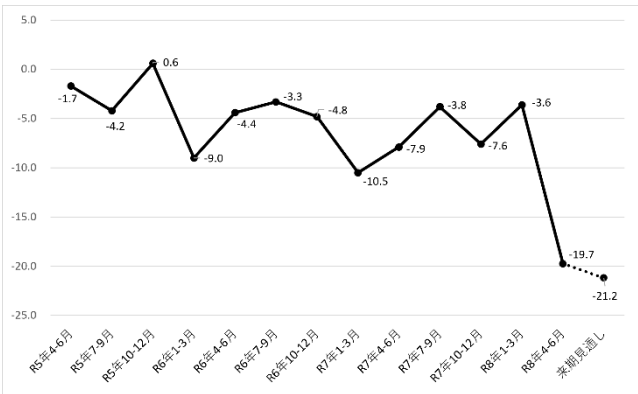
■建設業

業況 DI 値は▲10.0（前期比▲5.7、前年同期比▲2.0）、来期の見通しについては▲10.0（当期比±0.0）となった。

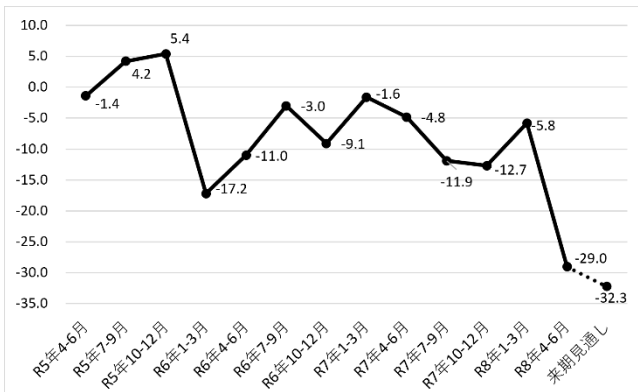
仕事はあり堅調に推移しているとのコメントがあった一方、中東情勢の悪化に伴う仕入価格の高騰・資材不足を懸念する声が多く、工事の延期を余儀なくされているとのコメントも散見された。また、依然として人手不足も深刻だとのことであった。

経営上の問題点としては、「原材料価格の高騰」、「従業員・技術者の確保難」、「人件費の増加」が主にあげられる。

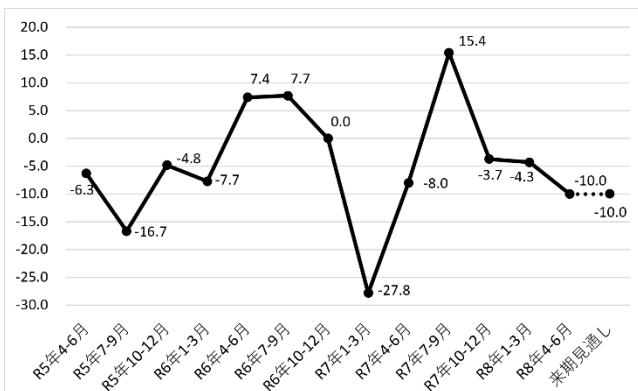
全業種 DI 値の推移



製造業 DI 値の推移



建設業 DI 値の推移



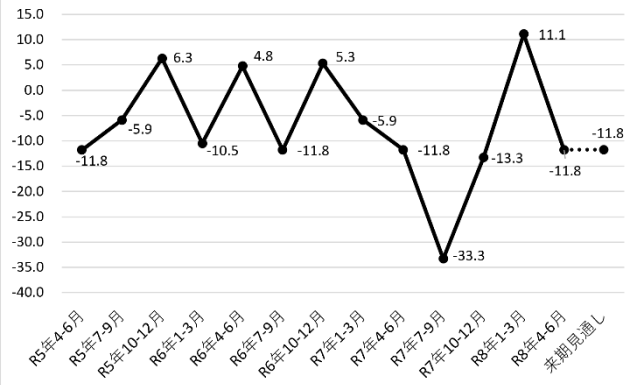
■卸売業

業況 DI 値は▲11.8（前期比▲22.9、前年同期比±0.0）、来期の見通しについては▲11.8（当期比±0.0）となった。

衣料品卸売業では熱中症対策の義務化が追い風となった一方で、仕入価格高騰や製品調達難、人件費の増加が深刻だとの声、取引先の業況も良くならないとの声があり、特に建材卸売業では中東情勢の影響が顕著であるとのことだった。

経営上の問題点としては、「原材料価格の高騰」がトップ、次いで「人件費の増加」、「人件費以外の経費の増加」があげられる。

卸売業 DI 値の推移



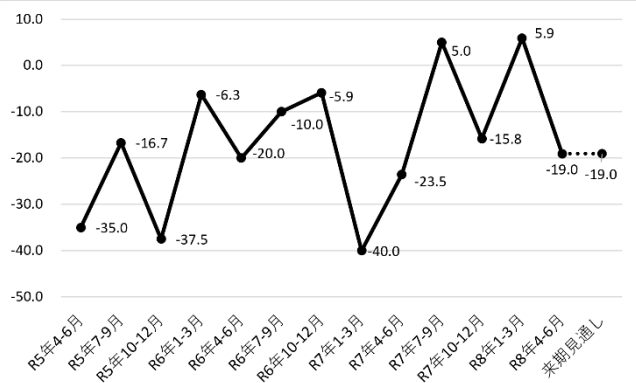
■小売業

業況 DI 値は▲19.0（前期比▲24.9、前年同期比+4.5）、来期の見通しについては▲19.0（当期比±0.0）となった。

業況は横ばいだとの回答が多い中、中東情勢の影響で仕入価格が高騰している、食品スーパーでは包装資材の確保が難しいとの声が聞かれた。また、売上が上がっても採算は良くならないとの声、消費者の購買意欲が低下していることを懸念材料として挙げるコメントもあった。

経営上の問題点としては、「人件費の増加」がトップ、次いで「原材料価格の高騰」、「需要の低下」があげられる。

小売業 DI 値の推移



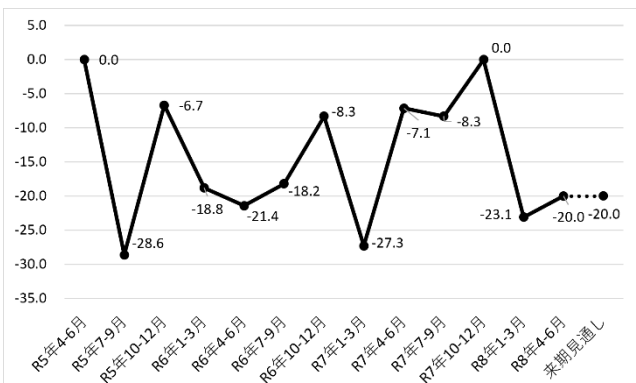
■運輸業

業況 DI 値は▲20.0（前期比+3.1、前年同期比▲12.9）、来期の見通しについては▲20.0（当期比±0.0）となった。

顧客が運送料金改定に理解を示してくれている、燃料の調達は安定しつつあるとの声が一部あるが、トラック用オイルの調達が困難である、仕事量が減少しているとの声もあり、先の見通しは不透明だとするコメントが多い。

経営上の問題点としては、「人件費以外の経費の増加」、「原材料価格の高騰」、「人件費の増加」があげられる。

運輸業 DI 値の推移



■サービス業

業況 DI 値は▲8.3（前期比▲1.2、前年同期比▲28.3）、来期の見通しについては▲9.1（当期比▲0.8）となった。

一部では値上げにより利益が出ているとの声が聞かれたが、仕入価格や人件費の上昇が厳しい、慢性的な人材不足が課題であるとの声もあった。飲食店では、観光客の減少を指摘する声、警備会社では、仕事はあるが人手不足であるとの声があった。

経営上の問題点としては、「原材料価格の高騰」がトップ、次いで「人件費の増加」、「従業員・技術者の確保難」があげられる。

サービス業 DI 値の推移

